

専門家が伝授する経営突破ナビゲーション(第7回)

飲食店の内装工事はDIYできる？費用やデザインの注意

2022.03.02



「古くなってきた」「客足が遠のいてきた」「洋食屋から和食屋に変えたい」などが理由で、店舗の内装を変える飲食店の方もいらっしゃるでしょう。その場合、業者に頼むと費用がかかるため、今はやりのDIYを考える方もいるのではないのでしょうか？

今回は、DIYでどこまで工事ができるのか、注意すべきポイントなどを店舗作りの専門家のatelier UD MIKAさんに教えていただきました。

飲食店の内装工事はどこまでDIYでできますか？

法律で決められた「電気工事・水道工事・ガス工事」以外であれば、基本的になんでもできます。一般的には壁を塗る、棚やテーブルを作るなどを自分でする方が多いです。なお、電気工事や水道、ガスは専門の資格が必要となるため、自分でできそうだと思っても業者に依頼してください。水道は軽微な変更(水栓のパッキン交換など)はセルフビルドも可能です。

設計の段階でDIYする部分は決められますか？

希望があればできます。先ほどもお伝えしたように、法律に触れない範囲であれば大丈夫です。店舗を出すときにはさまざまなパターンがありますが、さら地の状態で建築から作るものもあれば、空きテナントを借りて内装を作る場合もあります。どの場合でも、DIYの本やYouTubeで紹介されているような内容であれば、設計士と相談しながら決めることができます。

デザインだけプロに任せて、工事はDIYという方法はできますか？

できます。デザイン費はかかりますが、自分では考えつかないオシャレなデザインや、店のコンセプトにあったデザインができあがります。飲食店の設計を得意としているデザイナーは多彩な経験をされている方が多い印象がありますので、きっと心強い味方になってくれると思います。また、デザイン費用は坪単価＋諸経費で計算しているデザイナーが多いですね。

業者とDIYとでどれくらい内装工事の費用は異なりますか？

工事の内容にもよりますが、確実に変わる点は人件費です。一般的に、職人さんを1人雇うと1日あたり3～5万円が相場かと

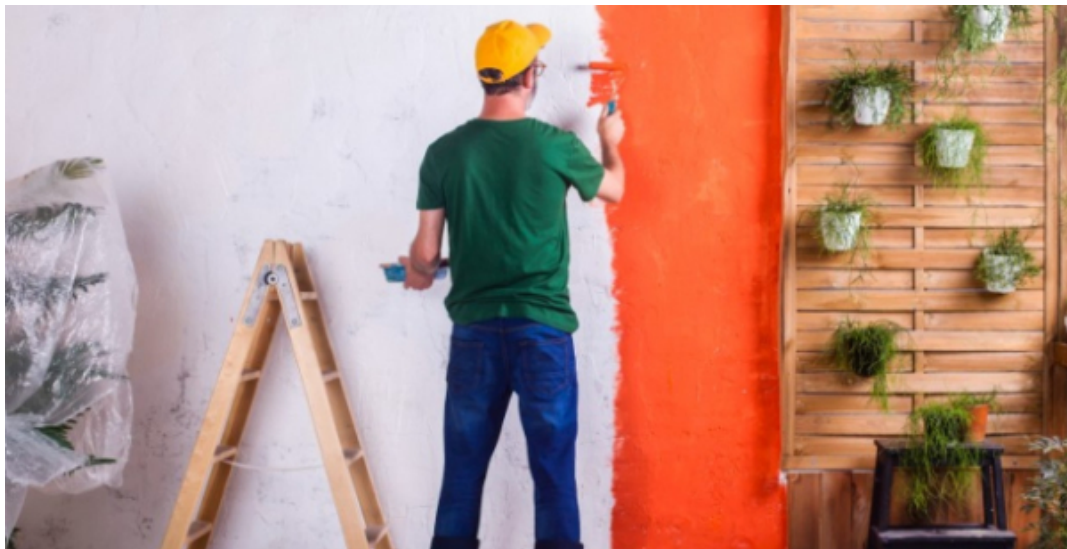
思います。たとえば、壁一面を塗る作業を2名の職人さんに頼むとします。広さにもよりますが、例えば職人さん2人で2日くらいかかる広さとしましょう。その場合にかかる費用は「2名分の人件費×日数分」+「材料費」+「諸経費」です。しかし、これをすべて自分で行うとかかる費用は材料費だけで済みます。

DIYを選ぶ理由は、費用以外にどんなことがある？

第一に、業者はスケジュール調整に時間がかかるからです。業者に依頼する場合、どうしても職人さんのスケジュールに合わせなければいけません。そのため「今すぐ壁の色を変えたい！」などの場合は、自分でホームセンターにいった材料を買って作る方が早いのです。

第二に、店舗のブランディングにつながるからという理由でDIYされる飲食店もあります。「家具はすべてお店の手作りです！」など、店一丸となって作ることがお店のアピールポイントになる場合もあります。とくにデザイナーや職人さんに依頼しなくても、空間の作り方が具体的にわかっているオーナーさんも多いですね。知人もこのパターンで、ほぼすべてDIYで内装を作っていました。

お店を新たに作る場合、賃料発生日との兼ね合いがありますので、「いつまでにOPENさせたい！」という希望があることがほとんどです。ただ賃料発生日などの制約がなく、時間的余裕がある場合はオーナーご自身のペースでお店づくりをすることもできます。



店舗内装をDIYするメリット・デメリットについてお伺いします。… 続きを読む